

- 水巻町は人工私有林が1ha程度と少なく、森林経営可能な森林もないため、森林環境譲与税を主に木材利用に充てていく方針。
- 令和4年度は以下の取組により、木材利用及び普及啓発を行った。
  - ・ 森林環境譲与税を活用して、公立保育所に国産桧材による下足箱を導入することにより、園児が木と触れ合い、木の良さを理解してもらうための環境を作ることができた。
  - ・ 森林環境譲与税を活用して、JR水巻駅南口駅前広場及び公園に国産杉材によるベンチを導入し、町民が木と触れ合い、木の良さを理解してもらうための環境を作ることができた。

## □ 事業内容

### ①公立保育所木製下足箱導入事業

公立保育所の老朽化した下足箱のリニューアルを行い、国産桧材の下足箱を導入することにより、園児が木と触れ合い、木材ならではの温かみを広く知ってもらうことで、木材利用の普及啓発を行った。

### ②国産木製ベンチ設置事業

駅前広場の改装などに伴い木製ベンチを設置し、町民が木と触れ合い、木材の温かみを広く知ってもらうことで、木材利用の普及啓発を行った。

【事業費】5,365千円（うち譲与税 5,365千円）

【実績】①木製下足箱：4個 ②木製ベンチ：8基



（木製下足箱）



（木製ベンチ）



## □ 工夫・留意した点

- ①町内の木製品制作グループと連携し、危険な角がない構造や端の面取りを行い、園児が安全に靴の出し入れができるよう木材利用の普及啓発を図った。
- ②駅前広場や公園の憩いのスペースとして明るい色を選定し、誰もが座りやすい高さや形状に配慮した。

## □ 取組の効果

多くの町民に木材の温かみを知ってもらうことができた。

## ◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額	3,232千円
②私有林人工林面積（※1）	1ha
③林野率（※1）	9.6%
④人口（※2）	28,114人
⑤林業就業者数（※2）	2人

### 【参考資料】

※1 「2020農林業センサス」より ※2 「R2年国勢調査」より